

### ③ There is a restaurant.

There is / There are構文 レストランがあります。

目標:授業を通してThere is / There are構文を使えるようになる。

時間:20分

準備:ハンドアウト、PPT

#### このタスクの進め方

##### ○Pre-Task

1. Step1 教師が写真を見せながらThere is / There are構文の英文を読み、生徒に聞き取りをさせる。1度目は注意しながら聞いてもらい、2度目は聞き取った内容を書きとらせる。

Do you know some restaurants around your school?

Yes, I do. There is a restaurant next to my school.

Do you usually go to a convenience store?

Yes, I do, and there are three convenience stores near my house.

Is Taro absent today?

Yes, I think. There is not his bag in the classroom today.

Also, there are not his textbooks on his desk.

2. Step2 教師は同じ英文を生徒に聞かせて、正しい語句を空欄に埋めてもらう。
3. Step3 生徒に文法構造がどのようなものなのかを気づかせる。

## ○Task

1. Step4として、イラストの描いてあるカードとビンゴカードを配布する。その際に、ビンゴカードは自分たちで配置を決め、作ってもらう。
2. タスクの説明をする。Model Dialogを基にペアになってもらい自分の手持ちのカードにあるものをThere is / There are構文を使って説明させる。
3. 自分のビンゴカードにあるものと同じものを相手が言っていたらポイントゲットとなる。
4. 全生徒の活動が終了したら、ポイントの取得方法について説明をし、計算してもらう。その後誰が沢山ポイント獲得できたのかを訪ねる。

## ワンポイントアドバイス

1. Step4のアクティビティでは英語を使ってのタスクであることを伝える。(日本語厳禁)
2. ペアになれていない生徒がいたら、教師が相手になり、生徒がアクティビティになるべく多く参加できるように見回る。

(五十嵐友香)